

## サブドレン等核種分析結果

参考値
-----

(データ集約：10/21)

採取場所	福島第一 1号機 サブドレン	福島第一 2号機 サブドレン	福島第一 3号機 サブドレン	福島第一 4号機 サブドレン	福島第一 5号機 サブドレン	福島第一 6号機 サブドレン	福島第一 構内深井戸
試料採取日時刻	平成26年10月20日 7時27分	平成26年10月20日 7時24分	平成26年10月20日 7時20分	平成26年10月20日 7時17分	対象外	対象外	対象外
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )						
I-131 (約8日)	ND	ND	ND	ND	-	-	-
Cs-134 (約2年)	5.3E-02	3.0E-02	ND	2.3E-02	-	-	-
Cs-137 (約30年)	1.9E-01	9.4E-02	2.7E-02	8.0E-02	-	-	-

． E- とは、 ． × 1 0<sup>-</sup> と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約1E-2Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約1E-2Bq/cm<sup>3</sup>) を下回る場合は、「ND」と記載。  
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 サブドレンのPu分析結果

1.測定結果：

(データ集約:10/21)

(単位：Bq/cm<sup>3</sup>)

採取場所	採取日	Pu-238	Pu-239+Pu-240
2号機サブドレン	平成26年5月9日	N.D. [5.9 × 10 <sup>-7</sup> ]	N.D. [5.0 × 10 <sup>-7</sup> ]
3号機サブドレン	平成26年5月9日	N.D. [5.4 × 10 <sup>-7</sup> ]	N.D. [4.6 × 10 <sup>-7</sup> ]

[ ]内は検出限界値を示す

2.分析機関：株式会社 化研

3.評価：

今回測定した試料からはPu-238, Pu-239+Pu-240は検出されなかった。

以 上

## サブドレン核種分析結果<1/2>

(データ集約：10/21)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 3号機サブドレン
試料採取日	平成26年5月9日	平成26年5月9日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	9.8E-02	2.3E-02
Cs-137 (約30年)	3.2E-01	7.5E-02
H-3 (約12年)	3.3E-01	1.5E-02
全	ND	ND
全	8.8E-01	1.4E-01
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	2.1E-01	5.5E-04

． E ± とは， ． × 1 0 ± と同じ意味である。

I-131，Cs-134，Cs-137については，平成26年5月10日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は，「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1E-2Bq/cm<sup>3</sup>，全 が約3E-3Bq/cm<sup>3</sup>，Sr-89が約3E-4Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし，検出限界値は検出器や試料性状により異なるため，この値以下でも検出される場合もある。

Sr-89・Sr-90の分析は株式会社 化研にて実施。

(評価)

H-3，全 放射能，Sr-90が検出されており，今回の事故による影響と考えられる。

## サブドレン核種分析結果<2/2>

(データ集約：10/21)

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 4号機サブドレン
試料採取日	平成26年6月13日	平成26年6月13日
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	1.5E-01	ND
Cs-137 (約30年)	4.5E-01	ND
H-3 (約12年)	5.8E-02	5.0E-01
全	ND	ND
全	6.2E-01	1.6E-02
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	6.1E-02	2.3E-04

． E ± とは， ． × 1 0 ± と同じ意味である。

I-131，Cs-134，Cs-137については，6月14日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は，「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約1E-2Bq/cm<sup>3</sup>，Cs-134が約1E-2Bq/cm<sup>3</sup>，Cs-137が約2E-2Bq/cm<sup>3</sup>，

全 が約2E-3Bq/cm<sup>3</sup>，Sr-89が約2E-4Bq/cm<sup>3</sup>。

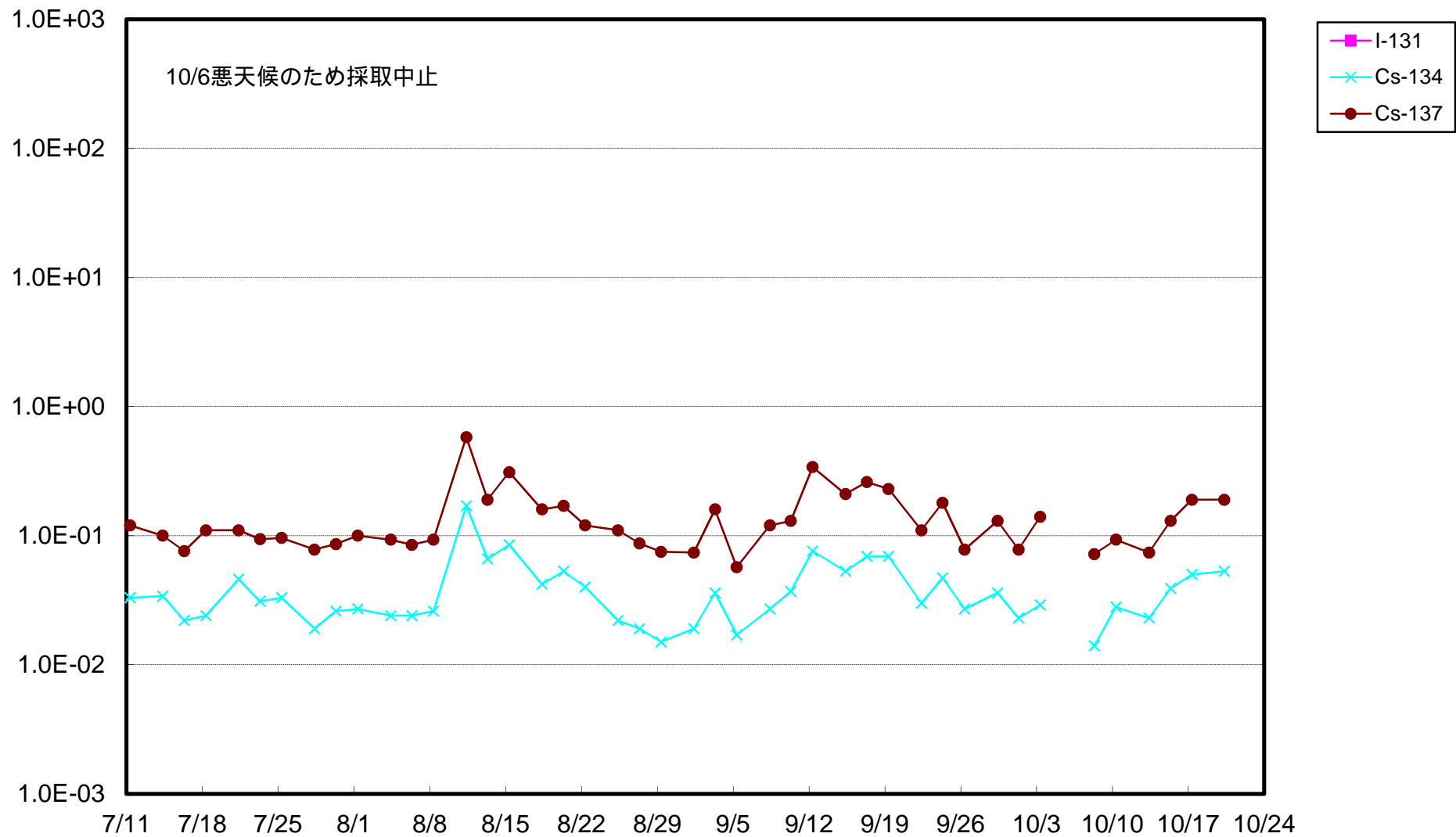
ただし，検出限界値は検出器や試料性状により異なるため，この値以下でも検出される場合もある。

Sr-89・Sr-90の分析は株式会社 化研にて実施。

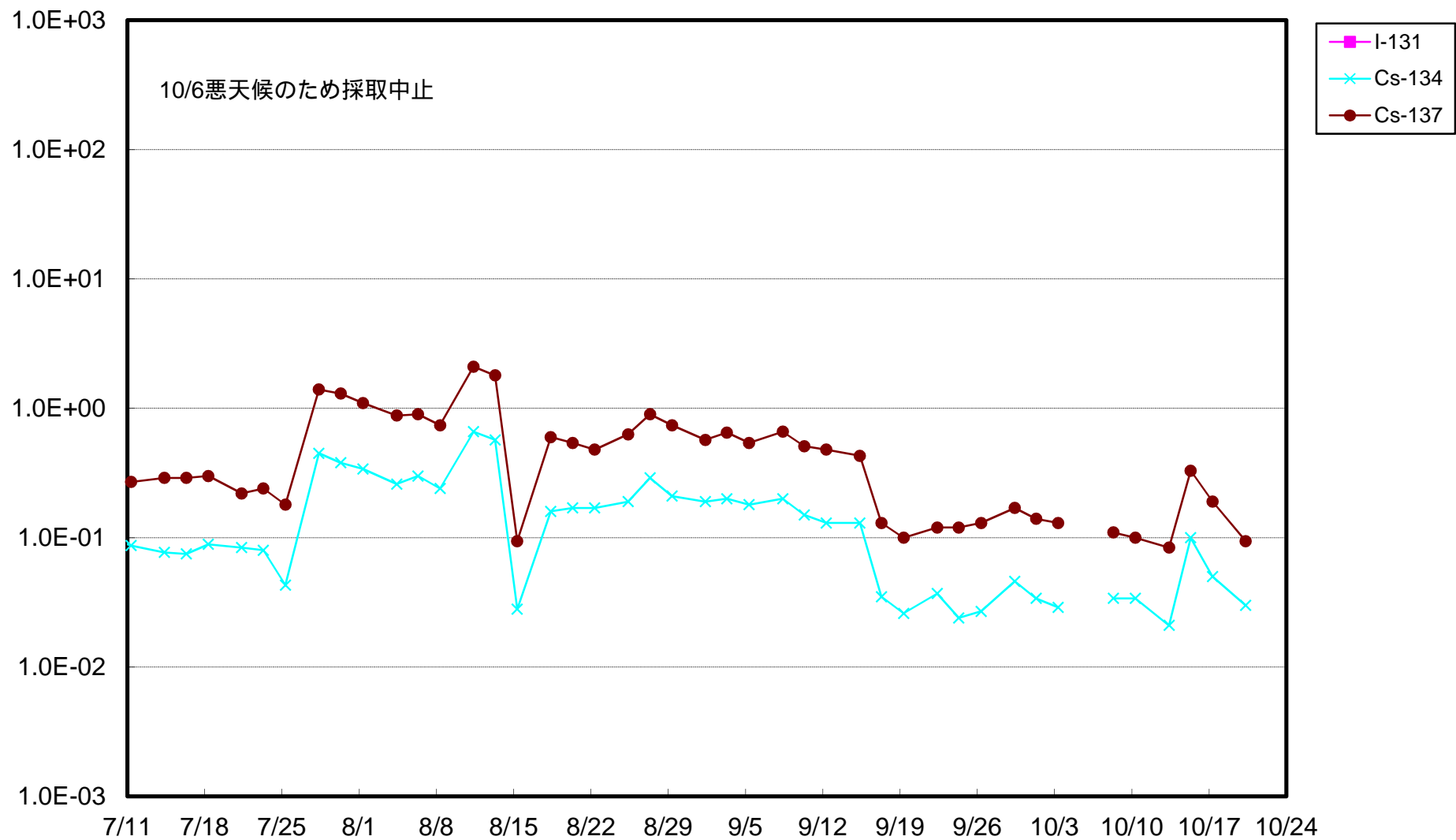
(評価)

H-3，全 放射能，Sr-90が検出されており，今回の事故による影響と考えられる。

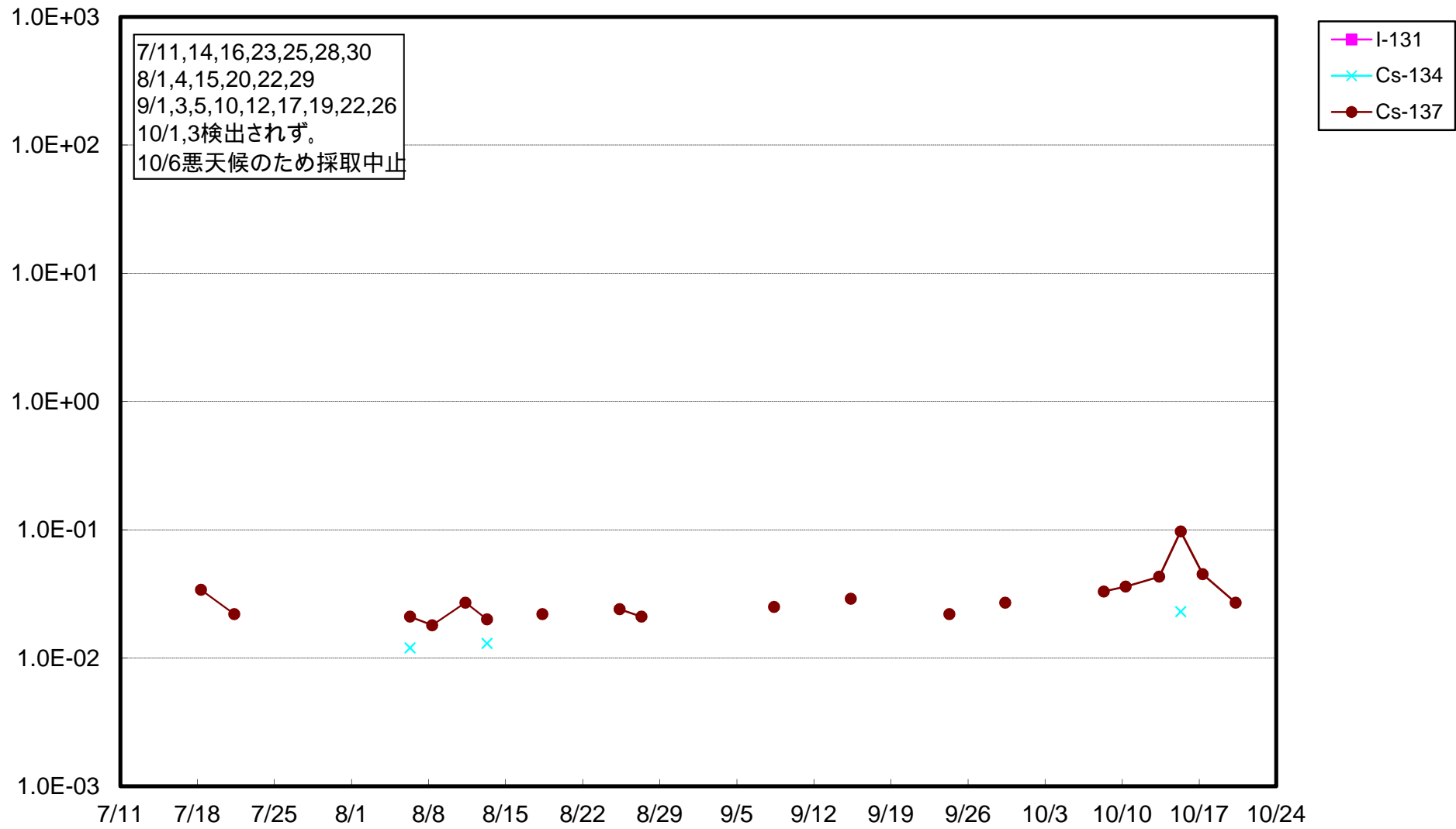
福島第一 1号機サブドレン放射能濃度 (Bq / cm<sup>3</sup>)



福島第一 2号機サブドレン放射能濃度 (Bq / cm<sup>3</sup>)



福島第一 3号機サブドレン放射能濃度 (Bq / cm<sup>3</sup>)



福島第一 4号機サブドレン放射能濃度 (Bq / cm<sup>3</sup>)

